

平成 23 年度富士山豆博士認定証授与式が行われました!!

2月10日、市役所市民ホールで、平成23年度ごてんばの富士山豆博士認定証授与式が行われました。

各学校の富士山豆博士の代表者が、市長から認定証を受け取り、豆博士になるまでの活動の様子など、感想を発表しました。

認定証を授与した市長は「富士山が世界文化遺産に登録されたら、今以上のお客さんが御殿場に来るようになると思います。そんな時は、皆さんのような『富士山の先生』の知識が頼りになります。皆さんが身に付けた知識は、お客さんにとっても、市民の皆さんにとっても、宝です」と大きな拍手を送りました。

代表の児童・生徒たちも、緊張の面持ちながら「この活動を通して、富士山の事を学ぶことはもちろん、グループで団結・協力して目標を達成することの大切さも学びました」など、様々な感想を発表していました。



▲市民ホールに飾られた児童・生徒たちの作品



◀認定証を受け取る児童たち

▶代表の生徒による活動の感想発表

今年も富士山豆博士が誕生しました!!

平成18年度から、富士山の豊かな自然と恵みを後世に継承するための「富士山基金」の一部を活用した「ごてんばの富士山豆博士事業」を実施しています。

ここでは、今年度実施した富士岡小学校・印野小学校・原里中学校・西中学校の取り組みを紹介します。

環境課 ☎ (83) 1603

富士山豆博士Q&A

Q. 富士山豆博士ってなに？

A. 富士山のことをたくさん学んだ、市内の小・中学校の児童、生徒たちのことです。各学校の特徴や地域性を生かして取り組むことによって、児童・生徒が身近な富士山の素晴らしさを再認識しているんです。

富士山と、富士山麓の豊かな自然に触れ、親しむことで、新しい発見をして、毎年たくさんのごてんばの富士山豆博士が誕生しているんですよ！

Q. すこいね！じゃあ、富士山豆博士って、今何人いるの？

A. 平成23年度は650人の富士山豆博士が誕生し、これまでに4,351人が富士山豆博士になりました！

平成18年度から21年度までの間に、市内のすべての小・中学校、全16校において実施しましたが、さらに多くの富士山豆博士を誕生させるため、平成22年度から平成25年度までの4年間を第2期として事業を継続実施しています。

Q. 次のどの学校から富士山豆博士が誕生するのかな？

A. 次年度は、御殿場小学校、御殿場南小学校、朝日小学校、高根小学校で実施予定です。

◆原里中学校◆



1・2年生259人が、富士山豆博士事業に取り組みました。

【1年生 富士山を知ろう】

富士山について知っていることや知りたいことを種類ごとにまとめ、自分なりの疑問を大切にしながら各自の探求テーマを設定しました。「富士山樹空の森」の見学や、図書館の書籍やインターネットを活用して疑問を解決し、自分達が調べたことやわかったことを写真や図などを活用してまとめ、発表会を行いました。



また、自分達の母校の小学校で富士山についてプレゼンテーションを行い、調べたことなどを小学生に伝えました。

【2年生 富士山を感じよう】

山梨県の鳴沢で自然教室を行い、ネイチャーガイドのもと、樹海・風穴・氷穴の散策をし、富士山の自然を体感しました。また、「砂防堰堤」や、「富士ビジターセンター」、「なるさわ富士山博物館」へ行き、新たな発見をしたり、学習してきたことを検証したりしました。



【1・2年生 富士山の日】

2月23日の富士山の日には富士砂防事務所の出前講座として講師を呼び、富士山の形成及び大沢崩れの実態と対策（砂防事業）について学びました。

◆西中学校◆



1年生84人が、富士山豆博士事業に取り組みました。

【枝打ち作業】

6月に、西中伝統行事の一つである「枝打ち体験」を行いました。富士山麓に植林した「ひのき」の枝を切り落とし、森林環境の保全活動に努めました。

【富士山樹空の森での学習会】

「富士山樹空の森」で富士山学習を行いました。富士山について多くのことを知り、今後の富士山学習への課題をもつことができました。



【樹海散策と鳴沢氷穴見学・山梨県立環境科学研究所での学習会】



10月に、山梨県で専門家による説明を受けながら、鳴沢氷穴とその周辺の樹海散策を行いました。山梨県立環境科学研究所で、「富士山の成立と地質」、「富士山の草原の生態学」、「富士山の水質と健康」の3コースに分かれて講義を受けました。事前に生徒の質問を研究所へ送り、その質問に対し講師の方から丁寧に回答して頂きました。

事前に課題を持って臨んだということもあり、たいへん価値ある学習となりました。



◆富士岡小学校◆



5・6年生173人が、富士山豆博士事業に取り組みました。

【5年生 富士山の調べ学習】

「富士山樹空の森」で、映像や展示を見ながら調べ学習をしました。富士山への興味・関心を高め、富士山について各自がテーマを決めて調べました。身近にある富士山について、知らなかったことを自分で調べたり、友達の発表を聞いたりすることで、富士山に対する理解を深め、富士山を大切にしたいという思いが強くなりました。

【6年生 富士登山・修学旅行先での富士山新聞配布】

◆富士登山に向けて自主的な体力作りや、学級の団結力を高める取り組みをし、全員が富士山を登りきることができました。6合目では、景色を見ながら富士山俳句を詠み、静岡県青少年俳句大賞に応募し2人が入選しました。

◆富士山について各自がテーマを決めて調べ、「富士山新聞」としてまとめました。各自が作成した「富士山新聞」を修学旅行の見学地で出会った人達に配り、ミニ親善大使として富士山や御殿場市、富士岡小学校を紹介しながら交流を深めました。この実践を通して富士山への関心を高めながら理解を深め、故郷の富士山に対する思いを強めることができました。



◆印野小学校◆

全校生徒134人が、学年ごとに富士山豆博士事業に取り組みました。

【1・2年生 富士山探検】

地域に住む富士山に造詣の深い渡邊裕氏を講師に迎え、水ヶ塚より富士山5～6合目を探検しました。五感を通して富士山を学び、その体験を感想と写真でまとめました。



【3・4年生 県の出前講座】

静岡県文化・観光部文化学術局世界遺産推進課の出前講座で、富士山を世界文化遺産に登録するための取り組みや、富士山の歴史、富士山にまつわる話を聞きました。富士山に住む動物や鳥、植物について学習し、学んだことを講師の方への手紙としてまとめました。

【5・6年生 富士登山・写真日記の作成】

◆地域に住む渡邊裕氏の案内で、水ヶ塚から幕岩を通して双子山へ向かう富士登山をし、富士山に住む動物や木々、植物について学んだことや、感動したことをまとめました。



◆5年生は、教室の窓から見える富士山の様子を5月から写真に撮り、富士山の毎日の顔を写真日記としてまとめ、現在も続けています。

【1～6年生 富士山樹空の森見学・野鳥の学習】

◆「富士山樹空の森」のオープニングセレモニーに参加したり、縦割り遠足でビジターセンターを見学したりして、富士山の四季や富士山にかかる雲等について学習しました。

◆児童会行事の愛鳥祭で、6年生と保護者が共同製作した巣箱を御胎内清公園に掛け、富士山麓に生息する野鳥についてクイズを交えて学習しました。